

2016年10月11日

各 位

会社名 株式会社大和証券グループ本社
代表者名 執行役社長 日比野 隆司
(コード番号 8601 東証・名証(第1部))

日本最大のエネルギー・インフラファンド
「IDI インフラストラクチャーズ3号投資事業有限責任組合」の件

株式会社大和証券グループ本社の子会社である株式会社IDI インフラストラクチャーズ(以下「IDI-I」)は、本年1月に組成したエネルギー・インフラ分野特化型ファンド「IDI インフラストラクチャーズ3号投資事業有限責任組合」(以下「3号ファンド」)の募集を行った結果、3号ファンドの規模は484億円となりましたのでお知らせいたします。

記

1. 趣旨

2015年7月に経済産業省から公表された「長期エネルギー需給見通し」では、電力供給について、安全性確保を大前提としつつ、安定供給や電力コストの引き下げ、地球温暖化対策への積極的な取り組みを同時に達成すべく、2030年度の電源構成として、原子力発電への依存度を可能な限り低減し、再生可能エネルギーの最大限の導入や火力発電の高効率化などの施策を推進していく方針が示されています。

また、歴史的な低金利水準の長期化などを背景とした厳しい運用環境が続く中、経済環境の影響を受けづらく安定的なリターンが期待できるインフラ資産に対する投資ニーズが高まっており、本年6月に公表された「日本再興戦略2016」では、インフラファンド市場の持続的な成長のために必要な環境整備を図る旨が掲げられるなど、政府の強力なリーダーシップの下、インフラ資産に対するリスクマネー導入に向けた取組が行われています。

本年1月に大和証券グループの子会社となったIDI-Iは、エネルギー・インフラ分野に特化したファンド運用会社です。IDI-Iは、2008年に1号ファンド、2011年には2号ファンドを組成し、火力・水力・バイオマス・太陽光・風力の各発電所や電力小売事業者など、同分野全般にユニークな投資実績を積んで参りました。

IDI-Iは、本年1月に3号ファンドを組成し、以降、追加で投資家を募った結果、事業会社・金融機関・年金基金等、合計24名の投資家の皆様から出資を受け入れ、本日現在、ファンド規模は総額484億円となりました。これは、我が国におけるエネルギー・インフラ分野への投資に特化したファンドとしては、最大規模であると認識しております。

3号ファンドでは、IDI-I が培ったエネルギー・インフラ分野の知見を全面的に活用し、ファンドの資金に、金融機関等からの借入等を組み合わせ、同分野のアセットに対して合計で数千億円規模の投資を行う予定であり、既に複数の国内火力発電所等への投資を決定しています。

大和証券グループは、総合証券グループとしての機能・ネットワークを活用し、IDI-I の活動を全面的にサポートします。また、3号ファンドの投資運用を通じて、再生可能エネルギー発電所や環境性能の高い火力発電所の供給等を推進することで、電力供給の安全性、安定供給、経済効率性及び環境適合の同時達成やインフラ資産に対するリスクマネー導入という、我が国の重要政策に貢献して参りたいと考えております。

2. 3号ファンド及びIDI-Iの概要（2016年10月11日現在）

(1)3号ファンド概要

名称	IDI インフラストラクチャーズ3号投資事業有限責任組合
所在地	東京都品川区東五反田五丁目11番1号 (*)
投資対象	エネルギー・インフラ分野に係る投融資
ファンド規模	484億円
無限責任組合員	株式会社IDI インフラストラクチャーズ
有限責任組合員	24名

(2)IDI-I概要

商号	株式会社IDI インフラストラクチャーズ
所在地	東京都品川区東五反田五丁目11番1号 (*)
設立	2007年10月15日
主な役員	代表取締役社長 CEO 埼玉 浩史
主な株主	株式会社大和証券グループ本社（議決権保有割合：50.01%）
事業内容	電力エネルギー・インフラ向け投資ファンドの運営

(*)2016年10月15日付で東京都港区南青山二丁目26番1号に移転予定

以上